

この発表では、前半では CHES (Contemporary History of Earth Science) という 2011 年 3 月に立ち上がったメーリングリストの説明と、その後科研費基盤 B 「地球惑星科学の哲学の基盤構築」で 2011 年夏に合宿したときの、第二班 (地球惑星科学の科学史) の活動報告を行った。

後半では、「名大地球科学科のオーラルヒストリー」と題して、青木が名大地球科学科 OB の方々に行ったインタビューを動画をまじえつつ紹介し、PT 革命よりもずっと前の当時、地球科学という観念がなかった頃に (1949 年)、どのように名大理学部で地球科学科という先駆的な構想が生まれたのかを、前述のインタビュー、および水谷伸治郎氏がまとめている名大地球科学科についての資料に基づきつつ、考察した。

我々の手元にある証拠によれば、1942 年に菅原健が、当時理学部長であった柴田雄次と知多半島を周遊したときに語った地球科学科構想が、名大地球科学科の元になったのだと考えられる。

青木滋之